

常盤台便り

Letter from the Residential Tokiwadai

第80号 2018年9月15日

サマーフェスタ in Marché 2018



ご来場ありがとうございました!

報告!!

9月15日 (土) 敬老祝賀の集い (式典・演芸)
9月18日 (火) 敬老祝膳 (寿司バイキング)

を予定しております。お楽しみに!!



7月・8月 職員研修開催

実際にあった事例を基に、職種・所属が異なる職員によるグループディスカッションを行い発表しました。



参加した職員の声

身体拘束に使われている用具を購入し、(注：当施設では使っていません！)実際に手にとったり着用してみました。身体拘束の用具を初めて見た人……たくさんの手があがりました



参加した職員の声

Only One

誰にでも、大切にしている“物”や“思い出”“人” etc があると思います。このコーナーではそんな人の“Only One”をご紹介します！

4番街・杉本英一さまの Only One

今回ご紹介するのは、4番街1丁目にお住まいの、杉本英一様です。お姉様に Only one の取材依頼をさせて頂いたところ、1枚の用紙に、杉本様への想いを綴って頂きました。

弟は、昭和29年3月6日元気な産声をあげました。1歳ごろの予防接種のあと、咳が出始め、母は弟を背負って病院をめぐりしても原因が分からず、その後大学の先生が「予防注射の後遺症かもしれない」と診断。当時は注射針の使いまわしをしていた時代ですから、予防注射で後遺症が残るなどお医者様もお分かりにならず、弟は脳に障害が残ってしまいました。

1年遅れで小学校に入学、中学校、職業訓練学校を卒業し、晴れて就職したのです。両親は心配で物陰に隠れて様子を見ていましたが、障害者雇用で理解をお持ち下さった自動車部品メーカーに採用され、17歳から27年間勤めさせていただきました。会社では、小さい部品を箱にきちんと詰める、という単純作業でしたが、仕事が好きだったようで、「休みなさい」と言うまで止めないほど、わき目もふらず働いていたようです。この会社での27年はとても充実していた時代でした。

弟は、今まで生きてきて、その時々周りの人々に助けられ、教えられ、的確な指示を頂き、まっすぐ生きてこられたと思います。それは全て、素敵な人たちと巡り合えた結果と、感謝の言葉があるのみです。これからも弟に平安が続きますよう祈っております。 姉 久保 真子



編集後記

9月に入り、だいぶ過ごしやすくなりました。これからは、新米など秋の味覚が美味しい季節ですね。